

## (仮称) 町田市食品ロス削減推進計画策定の進捗について

### 1 策定の目的・趣旨

食品ロス削減の取組みを総合的に推進し、ごみの減量や温室効果ガスの削減、資源の有効活用を図るため、(仮称) 町田市食品ロス削減推進計画を策定します。

### 2 策定の背景・理由

2021年度に第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画及びアクションプランを策定し、食品ロスの削減の取組みを推進していますが、年間1万5,000トンの食品ロスが発生しています。近年の調査結果によると、生ごみ(食品ロスを含む)の推計量は増加し続けています。

【家庭系ごみの組成調査結果による生ごみの推計量】

年度	2020年度	2021年度
生ごみの推定量(トン)	23,712	24,206
うち食品ロスの推計量(トン)	10,720	11,208

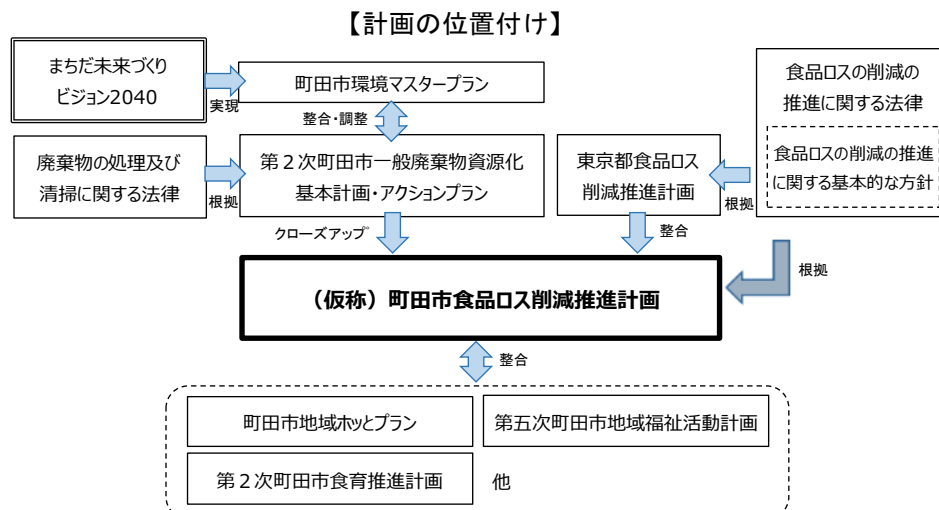
※上記の他に事業系の食品ロスを、年間4,000トン程度と推計している。

また、アクションプランには環境資源部の取組みのみを位置付けていますが、地域福祉部や保健所など市内各部においても食品ロスに繋がる様々な取組みが実施されています。

これらを含めた取組みを整理し、食品ロスの削減をより推進するために、新たに食品ロス削減に焦点を当てた計画を策定します。

### 3 計画の位置付け

第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画及びその実行計画であるアクションプランの下に位置する個別計画として策定します。



#### 4 計画期間

計画終期をアクションプランに合わせて2025年度までとし、計画期間は2023年度から2025年度とします。

#### 5 削減目標

第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画及びアクションプランの目標に基づいて、以下のとおりとします。

(1) 市民から出る「生ごみ」	2,000トン削減（2019年度比）
(2) 事業者から出る「生ごみ」	500トン削減（2019年度比）
	計2,500トン削減

#### 6 重点事業（案）

削減目標の達成に向け、従来の取組みに加えて、下記の事業を重点的に実施します。

##### (1) フードドライブの拡大

食品ロスの削減と食品の有効活用を目的として、公共施設での未利用食品の受付（フードドライブ）を拡大します。受け付けた食品は、「フードバンクまちだ（町田市社会福祉協議会）」から子ども食堂・地域活動団体や、関係機関を通して食品を必要としている世帯へ提供します。

##### (2) フードシェアリングサービスの開始

消費期限が迫っている食品などを販売したい事業者と、購入を希望する消費者をウェブサイト上で橋渡しするマッチングサービスを開始します。事業系の食品ロスの削減を図りながら、市民が気軽に食品ロスの取り組みに参加できる仕組みを構築します。

##### (3) 食品リサイクル施設の活用

家庭から出される可燃ごみのうち、「生ごみのみ」を分別収集し、食品リサイクル施設でたい肥化する仕組みを構築します。製造したたい肥は市民へ配付するなどして、地産地消を目指します。

#### 7 策定スケジュール

2023年3月	計画素案とりまとめ
4月・5月	廃棄物減量等推進審議会での意見交換
6月	計画策定、公表